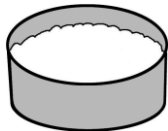


がつ にほんぜんこくあじ
10月 日本全国味めぐり

かごしまけんみなみきゅうしゅうし
鹿児島県南九州市

きびなごのかばやき A地区21日(水)
さつまじる B地区20日(火)



ごはん



きびなごのかばやき



さつまじる

みかん

みなみきゅうしゅうし のうさくぶつ
【南九州市の農作物】



だいこん



ちらんちや
知覧茶



ぎゅう
かわなべ牛

きたきゅうしゅうし
北九州市



こめ
米



べに
紅さつま

かごしまけん
鹿児島県
みなみきゅうしゅうし
南九州市

こんげつ にほんぜんこくあじ
今月の日本全国味めぐりは、
みなみきゅうしゅうし きたきゅうしゅうしこうりゅうし こんだて
「南九州市・北九州市交流」献立です。

「きびなごのかばやき」は、カラッと揚げ
たきびなごに、甘辛いタレをからめています。
あまから
鹿児島県では、料理に砂糖や甘口のしょうゆを多く使った、甘辛い味付けが好まれています。

「さつまじる」は、鶏肉を使った具たくさん
の汁物です。さつまちほう かごしまけん ほくせいぶ
薩摩地方(鹿児島県の北西部)
でよく食べられていたことから、「さつま
じる」という名が付いたと言われています。

みなみきゅうしゅうし きゅうしよく
南九州市の給食では「ぶりのぬかみ
そだき」と北九州市産のたけのこを使った
「だぶ」を取り入れ、交流を深めます。

みなみきゅうしゅうし しょうかい
南九州市の紹介

かごしまけん みなみきゅうしゅうし へいせい ねん ちらんちよう
鹿児島県南九州市は、平成19年に知覧町・
かわなべちよう えいちよう がつべい たんじよう じんこう
川辺町、顚娃町が合併して誕生しました。人口
は約3万人で、薩摩半島の南部に位置し、温暖な
きこう ゆた しぜん めぐ にほんゆうすう
気候と豊かな自然に恵まれています。日本有数の
お茶の産地として知られる「知覧茶」のほか、さ
つまいもや畜産など農業が盛んです。市の花は、
きたきゅうしゅうし おな
北九州市と同じひまわりです。

みなみきゅうしゅうし きたきゅうしゅうし きゅうしゅう みなみ
南九州市と北九州市とは、九州の南と
きた いち し なまえ に
北に位置し、市の名前が似ていることから、
へいせい ねん こうりゅうとし
平成20年に交流都市になりました。



ひまわり畑と開聞岳

